

## 弱視の種類

### 1) 屈折異常弱視

両眼に同程度の強い遠視や乱視があるためピントが合わず、ぼんやりしたものしか見ることができず視力の発達が止まってしまいます。

### 2) 不同視弱視

片眼だけに強い遠視や乱視がありピントが合わないため、そちらの方の眼の視力の発達が障害されている状態をいいます。

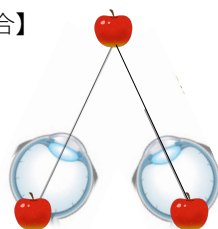
屈折異常弱視・不同視弱視ともに普段の様子からは気付けないことが多いため、3歳児健診で発見したい弱視です

## 弱視の種類

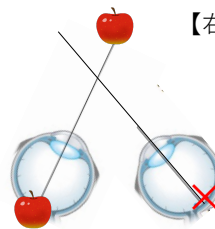
### 3) 斜視弱視

片方の眼の視線がずれている斜視の状態では、ものが2つに見えてしまうため、脳は斜視になっている眼で見ている像を消すように機能します。すると、斜視の眼の視力は発達できず、弱視になります。

【斜視がない場合】



【右眼 内斜視の場合】



## 弱視の種類

### 4) 形態覚遮断弱視

生まれつきの白内障や、黒目を覆ってしまうくらいの上瞼の  
下がり（眼瞼下垂）などにより、眼の中に適切な光刺激が入らない  
状態が続くことで起こる弱視です。

最も早期に発見して治療につなげるべき弱視です。